

No. 19

# みらい



子どもが育てば 大人も育つ 地域も育つ！



つくば市子ども会育成連合会

平成 30 年度 活動報告



## 研修バス旅行

平成 30 年度つくば市子ども会育成連合会研修事業「世界一美味しいうどん&スリル満点ライン下りを楽しもう!!」を 10 月 13 日土曜日に開催しました。

今回は平成 30 年度つくば市子ども会育成連合会総会で日程と事業内容をお知らせしてあったせいか総勢約 150 名、バス 4 台の大盛況でした。また、荃崎地区からも多くの皆さまにご参加いただきました。

場所は埼玉県秩父郡長瀬町、先ず始めに古沢園にてうどん作りに挑戦、人数が多かったので工程の一部を省いて丸い生地の状態からスタートしました。講師の先生の親切なご指導により生地をよく踏むところからスタート。子ども達からは、生地を踏みながら、「うわ～、柔らかい！気持ち

いい！」という歓声があちらこちらからあがりました。

次に生地に打ち粉をふり、めん棒の登場です。生地をめん棒で押して伸ばし、それから、めん棒に巻いて伸ばし、生地の形が四角くなるように、厚さは約 3mm を目指してみんな苦労しながら頑張っていました。そして、いよいよ生地を切る作業。ここでもポイントは打ち粉です。切るときはかなりくっつきやすいので、多いかなと思うぐらいでも大丈夫だそうです。生地をびょうぶだたみにし、麺切り包丁で切っていきます。切る幅は、生地の厚さと同じ 3mm くらい。みんな指を切らないように慎重に、生地を包丁で切っていました。切った後ホッとしたのか「上手に切れた～」「太さがバラバラだ～」等々の歓声があがりました。

うどん打ち終了後、会場をバーベキュー会場に移し、鉄鍋で沸騰したお湯にうどんを入れます。



先生の説明をよく聞いて！



もう少しでゆで上がり！



上手に切れてますか？



おいしくいただきました

テーブル席では「誰のうどんから食べる?」「僕の～、私の～」「太いけど美味しい! ちょっと麺がかたい… 麺が短い!」等々感想が飛び交いました。でも、自分で打ったうどんが世界一美味しいのは言うまでもありませんね!

お腹が一杯になり、いよいよ長瀬のライン下りです。親鼻橋から岩畳のAコースと岩畳から高砂橋のコースに分かれて乗船しました。ダイナミックな自然の景観を眺めながら川を豪快にすべるライン下り。時折、水しぶきが上がるたびに「キャー、キャー」との歓声があがりました。蛇行する緩急の流れでスリルを楽しめて長瀬の自然が創り上げた「亀の子岩、虎岩、岩畳、らくだ岩、カエル岩」等々の芸術品とも言えるロケーションに参加者全員が魅了されました。それに加えてライン下りの楽しさをさらに盛り上げてくれたのは船頭さんでした。船頭さんの巧に竿をさばきながら、それぞれ個性あふれるガイドは子ども達を魅了しました。

今回の研修事業では、うどん打ち、ライン下りなど食育や自然体験を通しての環境教育、伝統文化におおいに触れることが出来ました。また、各地区の子ども達との交流も出来たと思います。

つくば市子ども会育成連合会では、引き続き子ども達の感性を豊かにするような事業に取り組んでまいりますので次回もたくさんの参加をお待ちしております。



## 子ども会の花壇制作 (花壇審査)

今年も豊里地区、桜地区の子ども会が制作した花壇を審査しました。毎年のことですが、どの花壇も大変よく出来ているため審査時にはかなり悩みます。今年も花壇の美化状況と管理状況をじっくり見ながら採点しました。

審査結果は以下の通りで、最優秀賞は昨年度に引き続き豊里地区の高野子ども会で、とつてもきれいにまとまっていた!



最優秀賞：高野子ども会（豊里地区）



優秀賞：上里子ども会（豊里地区）



優秀賞：神谷森子ども会（豊里地区）



優秀賞：手生子子ども会（豊里地区）



優秀賞：上境子ども会（桜地区）



優秀賞：栄子ども会（桜地区）



優秀賞：横町子ども会（桜地区）

花壇は地域の人々みんなに安らぎを与えてくれます。水遣りや草取り等の日々の管理は手間が掛かりますが、地域の他団体と子ども会が協力し



優秀賞：上の室北部子ども会（桜地区）

て取り組むことも可能です。現在、花壇制作をしていない地区や子ども会さんも、地域を花できれいにする活動に取り組んでみられてはいかがでしょうか？

## 体験学習会（大穂地区）

ここ数年、大穂地区の体験学習会は天気に恵まれません。今回、幸い雨は降っていませんが、前日の雨で地面が少々ぬかるんでおり、屋外での活動は難しい状況です。まあ、去年は台風だったので、よしとしましょう！

今回は土浦市の茨城県中央青年の家にて、カレー作りとまが玉や紙ブーメランの制作活動です。施設に着いて班を編成し各自の役割分担を決めました。そして、屋外の炊飯場に移動してカレー作りを始めます。ご飯は飯ごうで炊いて、カレーは大きなお鍋で煮込みます。施設の先生に上手な作り方を教わりながら、子ども達は一生懸命



かまどの準備です



おいしそうに炊けました！



特製カレーの完成です！

取り組んでいます。ご飯はとってもおいしそうに炊き上がりました。少しこげた班もありましたが、それがまたおいしいんです！ カレーは施設の先生に教えてもらった裏ワザ？で手早く完成です！ 器をもって、みんなでおいしくいただきました。自分たちで作ったカレーは格別でした。

午後は屋内で制作活動です。やわらかい「ろう石」を紙やすりで削って「まが玉」を作ります。



まが玉の作り方を教わっています



こんな「まが玉」ができました！

石がやわらかいので、面白いようにどんどん削れます。削りすぎないように注意しながらだまかに形を作り、少しずつ形を整えていきます。水で洗って布で磨くとぴかぴかのまが玉に仕上がりました。最後に、穴にひもを通せば完成です！

引き続き、屋内で「紙ブーメラン」の制作です。型通りに厚紙を切り抜き、ホッチキスで留めれば出来上がり。天気も良くなってきたので、屋外でブーメランを飛ばしましょう！ 外に出ると子ども達は元気にブーメランを飛ばしていましたが、そのうち自然にみんなで鬼ごっこが始まりました。とにかく場所さえあれば子ども達は楽しむのですね。大穂地区の3つの小学校の子ども達が交流を深めることができた1日となりました。

## そば打ち体験（桜地区）

本年度桜地区子ども会育成連合会では、恒例の「そば打ち体験」を2月3日（日）、つくば市立栄児童館ホールにて開催いたしました。

参加者は子ども38名、大人23名の計61名とインフルエンザの流行で昨年より参加者が少ないとは言え、会場は大盛況でした。

今年もそば打ち名人の方々が、たくさんいらして子ども達に熱心にご指導下さいました。名人の中にはそば打ち段位三段の方もいました。この昇段試験は、審査の時間は40分で、水回し、こね、

のし、切りの 4 工程と事前準備、衛生並びに服装検査、事後の後始末まで全審査するそうです。その名人の匠の技を間近で見られるのですから、子どもたちは目を輝かせながら真剣に見つめていました。

自分たちの番になるとそば粉をかき混ぜながらの「水回し」、ひとつの塊になるまでの「こね」、その塊が目標厚さ 2.0 mm くらいになるまで木の棒で「のし」、四角になったらそれを畳んでそば包丁、普通の包丁で目標太さ 1.5 mm から 2.0 mm に等間隔になるように頑張る「切る」ことにも挑戦しました。

子ども達が打ったおそばはお土産に。そば名人が打ったおそばを茹でそれをつけ汁で食べました。子ども達からは「美味しい、超美味しい、こんな美味しいおそば初めて！」等々。

もちろん、「おかわり！僕も！私も！」の声が至る所から聞こえてきました。

毎年恒例になっているこのそば打ち体験ですが、皆楽しみにしているようで、リピートする子どもたちも多いようです。名人から直接教わる大変貴重な機会です。今回来られなかった方もぜひ次回にご参加くださいますようお願いいたします。桜地区子ども会育成連合会では、今後も地域の名人をお呼びして、学校とは違った体験してもらえよう企画してまいりたいと思います。



おいしいおそばになりますように！



うまくのせるかな？

## 会長挨拶



前年度に引き続きつくば市子ども会育成連合会会長の職を承りました飯岡宏之でございます。

さて当会は、子どもたちの心身共に健全な育成を地域全体で支えていこう、というのが設立当初からの目的であり、主旨であります。

現在の子ども会は少子高齢化が進み、団体数の減少、加入率の減少など、多くの課題を抱えています。しかし、子どもたちにとって、身近な地域社会における異年齢仲間集団の形成と活動を繰り広げることは、社会生活の基本を学ぶということでもあり、現代社会のように人間関係が希薄になっている状況では、非常に貴重な体験ができると言えます。子ども会の活動は多世代の交流が子どもの心やコミュニケーション力を育てていく場所と言っても過言ではありません。

また、子ども会の活動は、地域の行事と併せて

行う場合もあり、多くの年代の住民が関わる地域コミュニティの一つとも言えます。

集団の中で社会性を身に付けていくという側面は学校にもあります。しかし、学校は学習が主体であるため同年齢の集団となり、子ども会のような社会的コミュニケーションを積み重ね、多様な人間関係、信頼関係を築いていく経験ができるわけではありません。

子ども会とは、いわゆる学校では学ばない、これから先を生き抜くコミュニケーションスキルを育んでいける場所なのです。

つくば市子ども会育成連合会としても今後役員の負担軽減、参加しやすい環境、子どもの人数が少ない子ども会への配慮、早めの情報提供等を進めてまいります。育成会の皆様、子ども会の意義をご理解の上、より一層のご協力をよろしくお願いたします。



## お知らせ

子ども会は、就学前3年の幼児から高校3年生年齢相当までを構成員とした、地域を基盤とする異年齢の集団です。子ども会の目的は、仲間と活動を共有することによって、その子およびその子が参加している集団のより望ましい成長を意図したコミュニティ活動です。地域を基盤とし、仲間集団のもつ形成力と活動（経験）を通しての成長を統合し、よりたくましい子ども、子ども集団を実現しようとする活動です。

つくば市子ども会育成連合会は、つくば市および茨城県子ども会育成連合会と連携し、つくば市内の子ども会および子ども会育成会を支援する



ために活動しています。子ども会に加入されますと、全国子ども会連合会が運営する子ども会安全共済会に加入します。子ども会安全共済会は、日常の子ども会活動における万が一の事故等に備えるための保険です。安心して子ども会活動に取り組むためにも、ぜひ加入されることをお勧めいたします。つくば市子ども会育成連合会への入会は随時受け付けておりますので、先ずはお気軽にお問い合わせください。

また、子ども会について不明点等ございましたら、遠慮なくご相談ください。

(巻末のメールアドレスにご連絡ください)

## 備品の貸出

つくば市子ども会育成連合会では加入している子ども会に対して備品の貸出をしております。貸出は予約制となっておりますので、ご入用の場合は貸出担当者までご連絡ください（巻末のメールアドレスにご連絡ください）。ぜひ、子ども会の行事等でご活用ください。

貸出備品には限りがありますので、ご希望に添えない場合もございます。使用予定があらかじめ決まっている場合には、早めに予約されることをお勧めします。

なお、使用されました備品はきれいに掃除してからご返却くださいますよう、お願い致します。特にポップコーン機が汚れた状態で返却されて

いることがしばしば見受けられます。次に使用する方が気持ちよく使えるよう、ご協力の程よろしくお願い致します。

また、機械の不具合等がある場合は速やかに備品担当者までお知らせください。

### 貸出備品一覧

備品名	保有数
電動かき氷機*	4
ポップコーン機	3
綿菓子機	2
鉄板	5
臼と杵(杵は大小 1 本ずつ)	1
チャレンジゴール	3
ストラックアウト	1
ベースセット(ゴム製)	2
ベーゴマセット	2
竹馬	8
フラフープ	2

\*電動かき氷機はブロックアイス専用です。  
ロックアイスは使えません。

## 編集後記

子ども会活動の主役は子ども達です。子ども達は何をやりたいのか？ ということを追求め、より多くの子ども達が参加でき、そして「楽しかった！」と思ってもらえるよう、これからも取り組みたいと考えています。つくば市子ども会育成連合会では、単位子ども会では企画しにくい研修バス旅行やスポーツ大会を実施しています。単位子ども会の行事として、つくば市子ども会育成連合会の研修バス旅行等を組み込んでいただき、積極的にご活用いただければと考えております。

平成 30 年度のスポーツ大会はインフルエンザの流行により学級閉鎖が相次いだため、やむなく中止させていただきました。本年度は開催時期の変更も検討してまいります。

今後も地域の育成連合会としての役割を果たすために、子ども達にとってためになる魅力のある企画を進めてまいります。今後とも変わらぬご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

つくば市子ども会育成連合会へのお問い合わせは  
tsukuba.kids@gmail.com

